

80年代の現代美術

「日本の夏 1984(仮)」※ プレ企画 連続トークショー

第1回「関西における80年代の現代美術」

日時：2015年3月14日[土] 14:00-15:30(開場 13:30)

会場：水戸芸術館会議場 料金：無料 定員：80名(当日先着順)

《出演予定》

篠原資明(京都大学大学院人間・環境学研究科教授)

原久子(大阪電気通信大学教授・アートプロデューサー)

鷲田 めるろ(金沢21世紀美術館キュレーター)

浅井俊裕(水戸芸術館現代美術センター芸術監督)

※「日本の夏 1984」は、仮の展覧会タイトルですが、かつて当館で開催した展覧会「日本の夏 1960-64 こうなったらやけくそだ!」にちなんでいます。

当館では、一九八〇年代の日本の現代美術を検証する展覧会を計画しています。それに向けてのプレ企画として、今後数回にわたりトークショー、シンポジウムなどを行っていく予定です。第1回目となる今回のテーマは現代美術界の雰囲気大きく変えた「関西ニューウェーブ」。それまでの重苦しい前衛美術とは一線を画す新しい世代が登場してきたのがこの時代、とくに関西でした。たくさん「超少女」たちも活躍します。

ある意味で現在のアートシーンの源流となっている80年代の美術について、「軟体構築」「漂流思考」といったキーワードで批評活動を行っていた篠原資明氏や「A & C」という関西をフィールドとした批評誌を編集していた原久子氏など、当時をよく知る出演者たちが語り合います。

お問合せ：水戸芸術館現代美術センター

〒310-0063 茨城県水戸市五軒町1-6-8 Tel.029-227-8120 <http://arttowermito.or.jp/>

水戸芸術館
ART TOWER MITO